

科目名：成人臨床看護 I (Adult Clinical Nursing I) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態： 講義・演習 担当教員：吉越洋枝（実務経験あり） 渡邊好江（実務経験あり） 藤倉由美恵（実務経験あり） 五百部恵子（実務経験あり）		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある人とその家族に対する看護を学ぶ。クリティカルケアに特化した生命危機状態にある人とその家族の特徴を理解し、対象の生命・生活を支えるクリティカルケア看護について、事例を用いて理解を深める。 CP1, 2, 3, 4, 5 に関連する。 科目 No. KNz-208		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。		○	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	① クリティカルケアが必要な患者とその家族の特徴について説明できる。 ② クリティカルケアにおけるチーム医療の特徴と看護の役割について説明できる。 ③ クリティカルケアにおける倫理について説明できる。 ④ クリティカルケアが必要な患者の病態と必要な看護技術・援助方法を理解することができる。		
授業概要	健康状態の急激な変化により健康障害をきたした成人期の対象とその看護について学ぶ。特にクリティカルケアや周術期（周術期総論、循環器、呼吸器、脳神経系）に焦点化し臨床判断能力の礎を育む。		
評価方法	確認テスト 40% 課題提出 60% 試験に対するフィードバックは課題返却時に行う。		
予習・復習時間	【予習】 0.5h 【復習】 0.5h		
教科書	①系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学（医学書院） ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [3] 循環器（医学書院） ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳神経（医学書院）		
参考書	授業内で紹介する。		
お問い合わせ先	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。 吉越洋枝（3 号館 3 階研究室） yoshikoshi@kdu.ac.jp		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	ガイダンス クリティカルケア看護とは ①クリティカルケアとは。 ②クリティカルケア看護の場の特徴。 ③クリティカルケアが必要な患者と家族の特徴。	[予習]臨床看護総論で学習した健康状態の分類、成人看護学概論で学習した経過別看護について。 教科書①の第1章を通読する。 [復習]授業内容の振り返りとノート整理 [キーワード]クリティカルケア、ケアとキュア、集中治療室、重症度、緊急度、CNS-FACE II	講義 ○吉越
2 (/)	クリティカルケア看護とチーム医療 ①クリティカルケアにおけるチーム医療の特徴と看護師の役割。 ②クリティカルケアにおける多職種連携の重要性。 ③クリティカルケア看護における倫理的課題。	[予習]教科書①の第2章を通読する。 [復習]授業内容の振り返りとノートの整理 [キーワード]集中治療室、重症集中治療看護、医療安全、多職種連携、患者の権利、擁護	講義 ○藤倉
3 (/) 4 (/)	クリティカルケア看護 (1) 急性心筋梗塞事例 ①心筋梗塞の病態と検査・内科的治療。 ②事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考える。	[予習]心臓の解剖生理、病態と治療論Ⅲで学習した虚血性心疾患の内容。 教科書②の第2章、第3章A、第4章B・C①、第5章Aを通読する。 [復習]授業前：授業内容の振り返りとノートの整理 [キーワード]急性冠症候群、心電図上のST変化、心臓マーカー、抗血小板薬、血栓溶解療法、経皮的冠動脈インターベンション (PCI)、不整脈、冠動脈攣縮、心不全	講義 ○吉越
5 (/) 6 (/)	クリティカルケア看護 (1) 演習 ①患者の状態に応じた観察と援助の実施。	[予習]提示した課題に取り組む。 [復習]演習後の課題に取り組む。 [キーワード]状態のアセスメント、臨床判断能力	演習 ○吉越 渡邊 藤倉 五百部
7 (/)	クリティカルケア看護 (1) 急性心筋梗塞事例 ①再発防止に向けた援助。	[予習]教科書②の第5章A③を通読する。 [復習]授業内容の振り返りとノートの整理 [キーワード]冠危険因子、生活習慣の改善、服薬のアドヒアランス向上	講義 ○吉越
8 (/)	クリティカルケア看護 (2) 救急看護	[予習]病態と治療論Ⅱで学習した救急	講義

	<p>①救急看護の考え方と看護師の役割。</p> <p>②急変時における初期対応とトリアージ。</p> <p>③心肺蘇生法の基礎知識と一次救命処置。</p> <p>④危機的状況にある患者と家族への支援。</p>	<p>処置法について</p> <p>[復習] 授業内容の振り返りとノートの整理。教科書①の第4章Bを通読する。</p> <p>[キーワード]救急看護、トリアージ、一次救命処置（BLS）、救急カート</p>	<p>○外部講師</p>
9 (/)	<p>クリティカルケア看護(2) 演習</p> <p>①医療用BLS アルゴリズムに即した一次救命処置の実施。</p>	<p>[予習]本科目8回目の授業内容</p> <p>[復習]授業内容の振り返りとノートの整理</p> <p>[キーワード]意識レベルの確認、胸骨圧迫、AED</p>	<p>演習</p> <p>○外部講師</p> <p>吉越 渡邊 藤倉 五百部</p>
10 (/) 11 (/) 12 (/)	<p>クリティカルケア看護(3) くも膜下出血事例</p> <p>①くも膜下出血の病態と治療。</p> <p>②事例の状態をアセスメントし、今、必要な観察と援助を考える。</p> <p>③家族に必要な支援。</p> <p>1~9回目までの確認テスト(20点)</p>	<p>[予習] 病態と治療論Ⅳで学習した脳血管障害について。教科書①の第3章D、教科書③の第5章A-①-①、第6章D-①を通読する。</p> <p>[復習] 授業内容の振り返りとノートの整理</p> <p>[キーワード]脳動脈瘤、頭蓋内圧亢進症状、意識障害の評価（JCS、GCS）、神経学的所見、脳血管攣縮、脳血管内治療、開頭手術、脳浮腫、正常圧水頭症、社会復帰に向けた支援</p>	<p>講義</p> <p>○吉越</p>
13 (/) 14 (/)	<p>クリティカルケア看護(3) 演習</p> <p>①術後の状態の観察と援助の実施。</p>	<p>[予習]提示した課題に取り組む。</p> <p>[復習]演習後の課題に取り組む。</p> <p>[キーワード]状態のアセスメント、臨床判断能力</p>	<p>演習</p> <p>○吉越 渡邊 藤倉 五百部</p>
15 (/)	<p>クリティカルケア看護(4) 感染症予防</p> <p>①クリティカルな患者に対する感染症予防策。</p> <p>10~14回目までの確認テスト(20点)</p>	<p>[予習]教科書①の第4章Hを通読する。</p> <p>[復習] 授業内容の振り返りとノートの整理</p> <p>[キーワード]CAUTI 予防策、CRBSI 予防策、VAP 予防策、スキンケア、口腔ケア</p>	<p>講義</p> <p>○吉越</p>